(C1-3)

浮腫について最も考えられるものをえらべ。

1. 40歳男性 下肢に浮腫を生じた。浮腫は圧痕を残す。血清アルブミン2.8g/dl 血清総コレステロール280mg/dl 尿タンパク３+ 尿潜血－
2. 60才女性。口唇と眼瞼の浮腫を主訴に来院した。診察の結果、意欲低下、記憶力の低下が見られ、寒がりになり、便秘が続いており、体重が増加していることがわかった。四肢に浮腫が見られるが圧痕は認めない。また、皮膚の乾燥が見られた。

a心不全  
b血管性浮腫  
cリンパ性浮腫  
d甲状腺機能低下症  
eネフローゼ症候群  
f原発性アルドステロン症

(C4-6)

1. 50歳男性、発熱・倦怠感・食思不振を訴える。歯痛を放置していた。収縮期心雑音を認める。

H　インフルエンザ  
I　感染性心内膜炎  
J　マイコプラズマ肺炎

(C7-9)

1. 30歳女性。2週間前から動悸と息切れを自覚して受診。2か月前から、日差しの下で皮膚が赤く水泡が生じた。白血球2500　尿たんぱく（３+）
2. 18才男児 1週間前から発熱、咽頭痛、鼻汁があり、2日前から胸痛が出現した。心電図で広範なST上昇をみとめ、CK,CK-MBは正常
3. 3日前から発熱、胸痛を訴えている。階段昇降時に胸痛と息苦しさを感じ、椅子に座ったところ2時間程度で軽快した。心電図にて異常Q波を認める。

a.Dresssler症候群

b.SLE

c.細菌感染

d.結核感染

e.悪性リンパ腫

f.ウイルス感染

(C10-12)

次に測るべき検査項目は？

1. 60歳男性。20年間、糖尿病の治療を行っている。  
   BUN:40mg/dl、Cr:2.2mg/dl、Hb:9.0g/dl、MCV:90fl

②50歳女性 食欲不振 活動性の低下。HR 50 ,Tchol 280 ,MCV 90

③貧血が主訴。次にするべき検査はどれか。20歳(ぐらい)女性。WBC1500、Plt2万。

a freeT3

b Vit.B12

c 葉酸

d 骨髄穿刺

e ヘモグロビン分画

f TIBC

g 血清鉄

h, エリスロポエチン

(C13-15)

1. 17才の男。オープンキャンパスで手術のデモ講義を見ていたら気分が悪くなり、吐き気、腹痛を感じたためトイレに行ったが、途中で失神。数分で意識回復したが、脈は微弱で顔面蒼白。

A,メニエール

b,Bell麻痺

c,血管迷走神経反射

d,洞性徐脈

e,Ramsey Hunt症候群

f,起立性低血圧

g,椎骨脳底動脈循環不全

h,良性発作性頭位めまい症

(C16-18)

1. .58歳男性。高血圧と糖尿病の治療を受けている。突然発語が不明瞭になり、右顔面の麻痺と感覚低下、右半身麻痺を生じた。搬送後の診察でBabinski反射陽性である。
2. 25歳男性、痙攣発作後に右片麻痺が出現。症状は2時間で消えた。

a.Bell麻痺  
b.TIA  
c.Todd麻痺  
d.VitB1欠乏症  
e.VitB6欠乏症  
f.VitB12欠乏症  
g.脳梗塞  
h.重症筋無力症  
i.多発性硬化症  
j.糖尿病性神経障害

(C19-21)

1. 68歳男性。夜間、突然、激しい腹痛が出現しすぐに来院した。夕食で飲酒をしていない。夕食で魚介類を食べていない。検診で不整脈を指摘されたことがあるが自覚症状はない。血圧150/100、心拍数100、体温38.4。

a, 急性肝炎  
b, 急性膵炎  
c, 急性虫垂炎  
d, アニサキス症  
e, 急性胆嚢炎  
f, 偽膜性腸炎  
g, 潰瘍性大腸炎  
h, 虚血性腸炎  
I, 腹部大動脈瘤解離  
j 上腸間膜動脈閉塞

(C22-24)

1. 40歳女性。右母指、示指、中指に限局したしびれ・灼熱感を訴える。しびれは夜間に増強する。軽く手を振ると軽減する。事務職でよく右手を使う。身体所見で右母指球筋の萎縮と患指に知覚低下を認める。Spurling test陰性である。

(C25-27)

1. 小児の男児。突然の大量の赤褐色便で母親が慌てて連れてくる。腹部所見、機嫌、発熱など含めて、異常所見はなし

(C28-30)

1. 70歳男性。悪寒戦慄、嘔気、背部の重苦感。直腸癌の手術の既往があり、神経因  
   性膀胱で自己導尿している。もっとも考えられる疾患はどれか。

a, SLE  
b, 関節リウマチ  
c, 膀胱炎  
d, 腎盂炎  
e, 悪性リンパ腫  
f, 無菌性髄膜炎  
g, リウマチ性多発筋痛症

(C31-33)

1. 18歳男性、オープンキャンパスで手術のビデオ見ていたところめまいが生じた。

(C34-36)

1. 30歳の男性。一ヶ月前から続く心窩部痛を主訴に来院。ここ1週間で増悪。痛みは朝方に増悪し、摂食で軽減する。ここ3ヶ月間、仕事のストレスが多く、残業や休日出勤もこなしていた。
2. 160cm 80kg 運動療法としてランニング中、胸が痛くなった。冷や汗も出てきた。BP 100/66, HR 122 bpm

(C37-39)

1. 63歳男性、右不全麻痺、完全失語、右同名半盲

(C40-42)

1. 40歳男性。工場爆破で広範囲に高度の熱傷。全身に浮腫とチアノーゼを認める。気管挿管は不可能。
2. 25歳男性。てんかん重積状態の患者。血糖値に異常なし。次に行うべき検査は？

a,気管切開

b,輪状甲状間膜切開

(C43-45)

①

②

1. SLEの患者。流産後長期安静後の突然の胸痛

(C46-48)

血ガスの組成は？

1. 妊婦 自然流産後安静にしていたら突然の呼吸困難

②呼吸困難が増悪し、救急搬送された。レントゲンで肺過膨張と右下肺野の浸潤影を認める。咳と膿性の痰を伴う。

③

(C49-51)

1. 18歳男性、38度の発熱と痰のない咳がある。同級生も同じような咳をしているという。聴診で副雑音なし。レントゲンで両側下肺野にすりがらす影を認める。

(C52-54)

1. 5歳8ヶ月  
   発熱と同時に顔から全身に広がる発疹  
   現症:表面のザラザラした細かい紅斑が全身に広がる。耳介後部リンパ節を触知する
2. 2歳6カ月の男児。発熱と発疹を主訴に来院。鳥肌がたったような発疹で母親はアレルギーではないかと心配している。舌は発赤しており、口腔内は発赤し白苔を認める。

1.麻疹  
2.水痘  
3.風疹  
4.川崎病  
5.伝染性紅斑  
6.突発性発疹  
7.溶連菌感染症  
8.細菌性髄膜炎  
9.手足口病  
10.アナフィラクトイド紫班

(C55-57)

1. 26歳女性 体重増加、月経異常、多毛 血圧150/?
2. 40歳女性 最近顔貌の変化、声が低くなってきた。両手の知覚の低下、皮膚肥厚、舌が大きくなってきた、近位筋の低下も認める。

a, Addison  
b, Cushing  
c, SIADH  
d, 尿崩症  
e, 褐色細胞腫  
f, 先端肥大症  
g, 甲状腺機能低下？  
h, 高プロラクチン  
I, 副甲状腺機能亢進症状  
j, 副甲状腺機能低下症

(C58-60)

黄疸を主訴に来院した患者で最も考えられる診断を選ぶ。

1. 24歳、男性。全身倦怠感、黄疸(もう一つありましたが忘れました)を訴え受診。褐色尿、白色調便も認められる。東南アジア旅行から3週間前に帰国した。肝臓と脾臓が肥大している。頸部リンパ節に圧痛がある。
2. 35歳男。潰瘍性大腸炎を罹患している。黄疸、掻痒感、腹痛を訴える。ALP上昇。抗ミトコンドリア抗体陰性。

a,A型肝炎  
b,B肝肝炎  
c,Gilbert症候群  
d,Dubin-Johnson症候群  
e,Rotor症候群  
f,溶血性貧血  
g,原発性胆汁性肝硬変  
h,原発性硬化性胆管炎  
I,自己免疫性肝炎